

ステーションサービス LINE

No. 115

発行 2020.6.10

東日本旅客鉄道労働組合

ステーションサービス協議会

申4号 2020年度夏季手当等の団体交渉実施

会社は**3.0ヶ月**の満額回答を！

組合

《趣旨説明》

昨年度は、首都圏でも中核となる高田馬場駅、大井町駅、新駅開業にあわせ受託した高輪ゲートウェイ駅を含め26箇所を新たに受託したことにより、営業収益は昨年度を上回り、112.9%を達成することができた。これは、「JESSビジョン2020」に掲げる「経営基盤を固める取組み」を着実に進めた結果である。それは、不特定多数のお客さまと接する機会が多い駅において、「新型コロナウイルスに感染するかもしれない」という不安がある中で、社会インフラを守るという使命感のもと、命をかけて努力してきたからであり、そのことに会社は報いるべきだ。よって、基本給月額3.0ヶ月と新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当全従業員一律5万円の**満額回答**を要求する。引き続き、粘り強く交渉していく。

会社

会社から夏季手当に関する考え方を述べる。「JESSビジョン2020」の最終年度に入った。目標を掲げて、達成に向けて社員の皆さんにご尽力頂いている。新型コロナウイルスにより、2月には当社社員も感染し、ウイルスが目に見えない中で不安を抱えながら、業務に誠心誠意取り組んで頂いている。JR東日本は特措法に基づく指定公共機関であり、当社は業務を受託し営業をするのが使命なので、社員の皆さんには遂行して頂いたことに感謝申し上げます。一方、新型コロナウイルスの感染防止のために、1人ひとりの社員が不安を抱える中で、社会的使命、公益性を持っていることを理解して、責任感を持って業務にあたって頂いたと思っている。したがって、手当を決定する業績、今後の先行き、またこの間の努力を総合的に勘案した上で夏季手当を検討したい。

JR東労組の旗の下に結集し、

職場からのたたかいで要求を実現しよう！

